

事前の質疑に対する回答

| 該当資料 | 御質問・御意見 | 理由等 | 回答 |
|----------------------------------|---|--|---|
| 資料1 p.3 「基本目標③」 「基本目標④」 | 次期戦略の策定に向けて、「移住定住促進」「観光振興」について、現状の課題及び今後の戦略・施策の展開に関して貴市のお考えを伺いたい。 | 人口の社会増減、観光入込客数ともに参考値年度のH30年度から大きく減少している。 これらは、貴市の活力維持、魅力度アップにも大きく影響するものであり、貴市の現状認識を伺ったうえで、振興局(県)としても、協力して取組みを進めていきたい。 | <p>●「移住定住促進」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考値であるH30年度については、H28年の熊本地震で自宅が被災したことで再建のため一旦市外に転出し、再建後、市に戻ってきたことによる社会増、現状値であるR5年度については、コロナ禍での移動制限が緩和されたことで社会減になったと考えられます。(R3・R4年度は社会増) ・現状の課題として、進学・就職をきっかけとした15～24歳男性の流出、結婚・出産をきっかけとした20～34歳女性の流出が目立っている。社会増の実現のためには、本市にゆかりのある若者のUターン、定住をより確実にするとともに、それ以外の若者も取り込んでいく必要があります。 ・今後の戦略・施策の展開として、本市の各部署が進めている子育て支援及び住まい支援を一体的にプロモーションし、「子育てしやすい、住みやすい宇城市」の印象・価値付けを行い、移住定住を加速させるとともに、短期的な施策だけでなく、長期的な施策として、本市の特徴である交通利便性を生かしたまちづくりについても検討していきます。 <p>●「観光振興」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体の観光入込客数で見るとコロナ禍前の水準までは戻っていない現状にありますが、観光の核である「三角西港」については多言語化音声案内システムの設置など外国人来訪者対策を行い、入込客数も徐々に増加しています。 ・県の夢チャレンジ推進事業を活用した三角西港でのレストランイベントなど来場者満足度が高くなるようなイベントを実施していますが、駐車場が少なく一度に多数の集客のある大きなイベントができないことが課題としてあるため、三角東港との併せた活用も検討しているところです。 ・来年度世界文化遺産登録10周年となる三角西港を中心に、市観光物産協会など関係機関とも連携しながら、集客を図りたいと考えています。 |
| 資料1 P4～P5 | 次期戦略の策定について内容は具体的であるべきだが、どのような市／街にしたいのかについては簡潔なスローガンのようなものを作り、行政だけでなく、民間企業や住民も参加しやすい形にしたが良いと思います。 | 基本的な考え方について記載されているが、漠然としている。詳細は後日提示されるとのことですが、どこまで具体的に示されるのか不安を覚えます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略については、現在策定中の次期宇城市総合計画で掲げる将来都市像を地方創生の観点から目指していくものとするため、次期戦略における目指す姿も同一のものとして示し、ともに発信していくことで住民や民間企業の方等とも共有して推進していきたいと考えています。 ・戦略の内容については、国の手引きを踏まえ、目標達成のための方向性と具体的な施策を記載し、目標に対応する数値目標と施策に対応するKPIを設定します。 |